

Title	アメリカ小売業に於ける百貨店の経営戦略分析-業態間競争と百貨店の戦略展開に関する史的考察-
Sub Title	
Author	玉井久男(Tamai, Hisao) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1980
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 玉井久男
(株式会社 伊勢丹)
所属ゼミナール 片岡一郎 研

主査 片岡一郎 教授
副査 滝沢 茂 助教授
和田 充夫 助教授

アメリカ小売業界に於ける百貨店の経営戦略分析 (業態間競争と百貨店の戦略展開に関する史的考察)

小売業界の中で、1つの地位を築き上げている百貨店も人間同様に寿命があり、“永遠に生き続ける”という保証は何もない。我々は歴史の中である大規模企業の歯車が狂ったことにより、短期間にその姿を市場から消し去った多くの例を知っている。

このことは百貨店といえども、今後とも努力に支えられた革新、そして、それに基づく中、長期戦略の立案及び具現化がなければこの激動の80年代の小売業には、生き残れない。

そこで、この戦略の方向性を見出すために何よりもアメリカ近代小売業130年の歩みを跡づけすることにより歴史の中で、百貨店が種々な競争の中でどの様な戦略を展開して来たか……を記述する。

そして、小売業全体及び百貨店に影響を与えたと思われる要因について特に百貨店の動向を加味し分析すると共に、現在のアメリカ小売業界に於ける百貨店の位置付について記述する。

そして、論文の最後の部分で、今まで百貨店に影響を与えたと思われる要因の今後の動向を予測すると共に今までの百貨店戦略上の疑問点を整理する。更に、その疑問に対して自分なりの解答を述べた後、以上の分析に基づいた今後の百貨店戦略展開の方向性を提案する。

以上